

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●エリザベス女王杯はラッキーライラックが連覇

11月15日(日)、京都競馬場改修工事のため1979年以来41年ぶりに阪神競馬場での開催(2回目)となったエリザベス女王杯(G I)では、昨年の勝ち馬ラッキーライラック(牝5歳/栗東・松永幹夫厩舎)が勝利、史上4頭目となる同レース連覇を達成しました。グレード制が導入された1984年以降、「異なる競馬場での同一G I勝利」は4頭目。またラッキーライラックは阪神ジュベナイルフィリーズ、大阪杯と合わせて阪神でのG I・3勝目で、これはグレード制導入以降、初めてのこととなります。

### ●江田照男騎手がJRA通算1万7000回騎乗を達成

11月14日(土)の5回東京3日・第2レースでタイプチョウサンに騎乗した江田照男騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上11人目、現役では9人目となるJRA通算1万7000回騎乗を達成しました。

### ●C.ルメール騎手がJRA通算1300勝を達成

11月14日(土)の5回東京3日・第6レースではルージュアドラブが1着となり、同馬に騎乗したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は、史上25人目、現役では12人目となるJRA通算1300勝を達成しました。6215戦での1300勝達成は、武豊騎手の7022戦を上回る史上最少騎乗回数での達成となります。

### ●武豊騎手がJRA年間100勝を達成

11月15日(日)の5回阪神4日・第6レースではレザネフォルが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、2年連続23回目となるJRA年間100勝を達成しました。本年の年間100勝達成は、C.ルメール騎手、川田将雅騎手、福永祐一騎手、松山弘平騎手に続く5人目のこととなります。

### ●秋の福島競馬リーディングジョッキーは西村淳也騎手

11月15日(日)をもって3回福島競馬が終了し、この開催で6勝・2着5回の成績をあげた西村淳也騎手(栗東・フリー)が、6勝・2着4回の菅原明良騎手を押さえて開催リーディングジョッキーとなりました。西村騎手は1回福島競馬でも11勝をあげて開催リーディングジョッキーに輝いており、計17勝で年間リーディングも獲得したこととなります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●若駒賞(盛岡)は人気のリュウノシンゲン【各地の主要2歳重賞】

若駒賞(10月18日、盛岡、1600円)は、2番手を追走したビギナーズCの覇者リュウノシンゲン(牡、父グランプリボス)が直線に入って間もなく抜け出し、4馬身差で完勝、単勝1.2倍の支持に応えました。佐賀デビュー馬限定戦の九州ジュニアチャンピオン(10月18日、佐賀、1400円)は、2番手から3コーナーで先頭に立った単勝1.5倍で断然人気のシュリーデービー(牝、父カレンブラックヒル)がそのまま押し切って重賞初制覇。ゴールドウイング賞(10月27日、名古屋、1600円)は、2番手から向正面に入って間もなく先頭を奪った単勝1.6倍で1番人気のダイセンハッピー(牝、父ホッコータルマエ)がそのまま押し切り、こちらも初の重賞制覇を果たしました。平和賞(10月28日、船橋、1600円)は、中団から差を詰めた1番人気のマカベウス(牡、父ゼンノプロロイ)が直線半ばで差し切り勝ち。知床賞(11月1日、盛岡、1400円)は、2番手から直線入口で先頭に立った2番人気の岩手所属馬ゴールデンヒーラー(牝、父タートルボウル)が、単勝1.5倍で断然人気の北海道からの遠征馬スティールグレートに2馬身半差を付けて完勝。高知デビュー馬限定戦の黒潮ジュニアチャンピオンシップ(11月1日、高知、1400円)は、ハルノインパクト(牡、父ヴァンセンヌ)が逃げ切り勝ちを収め、単勝1.2倍の圧倒的人气に応えています。

### ●11月25日の浦和記念(浦和)はウェスターランドが有力

浦和記念(Jpn II、11月25日、浦和、2000円)は、小回りコースが鍵もウェスターランドが中心、以下ロードプレス、ダノンファラオ、デルマルーヴル、ヒストリーメイカーの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1BCディスタフ勝ち馬が950万ドルで落札

11月8日に米国ケンタッキー州で開催されたファシグティプトンノベンパーセールで、この前日に行われたG1ブリーダーズCディスタフを制して、7つ目のG1制覇を果たしたばかりのモノモイガール(牝5歳、父タピザ、B.コックス厩舎)が同セール史上3番目の高値となる950万ドル(約10億円/1ドル108円で換算)でスペンドスリフトファームに購買されました。モノモイガールは来年も現役を続行する予定です。

### ●G1デルビーパウリスタ〜オウンゼムが最後方から差し切る

ブラジル・サンパウロのダービーにあたるG1デルビーパウリスタ(3歳、芝2400円)が11月14日にシダーズジャルジン競馬場で行われ、A.モタ騎手を背に最後方でレースを進めたオウンゼム(牡、父サルト、E.アラウホ厩舎)が直線で一気に差し切って優勝しました。1馬身 $\frac{3}{4}$ 差の2着にアグネスゴールド産駒のオリビックレムリン。オウンゼムは今年10月1日のデビュー戦(ダート2000円)で2着。ここが2戦目でしたが、見事に栄冠を掴みました。